

はばたき

大分大学教育学部

附属小学校便り

平成28年4月19日

本年度の改革について

～①異年齢集団で育む人と繋がる力～

指導教諭 山田真由美

本校の自慢の一つにチーム活動があります。1年生から6年生まで各学年二人ずつ集まり「チーム」をつくり、一緒にお弁当を食べたり、遊んだりします。また、行事によってはチームで行動するものもあり、昨年度末の遠足ではチームでそれぞれの良いところを見つけ、紹介し合う「キラリ見つけ」もしました。

今、国は新しい時代に必要な資質・能力として、「多様性を尊重する態度と互いの良さを生かして協働する力、持続可能な社会作りに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやり」など、人間性に関するものをあげています。これらのことは、既存の学年集団での活動だけで育まれるものではありません。何より本校のチームでの子どもたちの様子がそれを物語っています。それに、世の中に出れば同級生とだけ接するということはほとんどなく、異年齢の中で働いたり、人間関係を築いたりしなければならぬことは、大人なら誰でも承知していることです。

そこで、高学年の下学年への優しさや思いやる力を更に高め、状況に応じて時には注意したり、見守ったりしながら、チームをまとめていくリーダーとしての力を育てたいと思いました。そして、下学年にはその高学年を見てより具体的な「憧れ」の姿をもって生活して欲しいとも考え、本年度は学級掃除から異学年によるチーム掃除を行うことにしました。

保護者の皆さんもご存じのように子どもたちは昨年度より無言掃除を行っております。最初はなかなかうまくいかないこともありましたが、学年ごとに自分たちの姿をふり返り、反省したり、良さをのべしたりする中で私たちが想像していない姿が見られるようになりました。それは「誇り」です。たかが掃除ですが、このたかが掃除を全校で一生懸命出来る学校が全国にいくつあるでしょうか。本年度新しく赴任した先生が

「下級生がこぼしてしまった給食を6年生が、当たり前のこととして拭いてくれていました。」

と、6学年主任に話をしていました。学年主任は聞いていなかったことです。つまり、その子にとっては当たり前のこと、先生にほめてもらうためではないので、別段先生に報告することもなかったということなのです。（学年主任のうれしそうな嬉しそうな顔が最高でした！）子どもたちは、そんな自分たちの姿に「誇り」を感じているようです。

異学年での掃除活動は決して簡単なことではありません。何より、チームを引っ張る6年生とそのサポートをする5年生にとっては今まで以上に大変な活動になると思います。そして、それを指導する教師も「自分の学級」「自分の学年」から、様々な学年に関わることで「その学年に応じた力を付ける」ということを意識し、接していくわけですから、より多面的に子どもたちを捉える力が要求されます。

新しいことを始めるには、それまであったことを精選することも必要です。「良いことだから」といって、次々に新しいことを取り入れてしまうと却って負担感の多い「ただやらされるだけの活動」になります。限られた時間の中で「やりがい」や「自信」に繋がる活動をと考え、本年度は子どもたちのセンター活動を見直し、内容を精選しました。既存の活動にとらわれず「自分たちで考えて出来る活動」となるように、6年生が主となり動いてもらいます。そして、5年生にはチームのサポートにより深く関わってもらうようにしました。

チーム掃除は今週からスタートしますが、春休み中には担当教員を中心に教師間での「お掃除指導者研修」も実施し、こちらもやる気満々です。この先生たちの姿を生み出したのも昨年度の子どもの一生懸命な掃除の姿だと思います。少し難易度の高いチャレンジですが、この附属の子どもたちなら、新たな一步を自分たちの「誇り」にしてくれるに違いありません。

なお、生活時間も少し変わります。掃除は朝の時間帯に行います。朝から体を動かすことで頭も教室もすっきりさせ、その後のフリートークで学習に臨む雰囲気を作るという流れを考えてのことです。また、昨年度は朝の時間に行っていたグローバルタイム（外国語活動）を午後に変えます。グローバルタイムは体全体を使って反応したり、笑顔でリアクションをとったりすることが多く午後の時間の方が活動

に適していると考えたからです。時間帯の入れ替えはありますが、授業の校時、給食などの時間は変わりません。

～②大学、四校園との連携～

大分大学も学部の改編や教育実習の改革など全国の大学改革の流れの中で様々な改革を行っております。本校も一昨年度より改革を行い、昨年度は大きな改革の中で保護者の皆様にもたくさんのご協力をいただきました。

その改革の一つに昨年度より、県のニーズはもとより、本来の附属校園のあり方を見直す中で中学校との連携を図ることにも力を入れてきました。特に外国語活動と外国語科で連携を図ることで小学校教員の外国語活動の指導力と自信が高まり、子どもたちの授業が変わってきました。子どもたちの授業の様子は、県内の外国語科の先生だけでなく、指導要領作成に関わっている大学の先生や文部科学省の方々からも高く評価されています。

本年度は教科教育の面では外国語活動に加え、総合的な学習の時間で連携していく予定です。また、PTA常任委員会でもお話しましたが、現在、附属中学校では2学期制を取り入れており、特別支援学校でも本年度から評価において2学期制を取り入れることになっています。本校でも、小中連携はもとより、何より児童の生活の小学校から中学校へのなめらかな移行を鑑み、平成29年度から2学期制を実施する予定です。そこで、本年度は3学期の区切りは変えないまま、評価を2学期制にしていく実質2学期制を取り入れて参ります。中学校とは生活のきまり等についても今後連携を図って行く予定です。

また、大分大学教育学部長とも入学式の後に、話し合う機会を設けていただき、今まで以上に関わりを密にしていく方向の話をしていただきました。特に、教育実習や研究に関わっては、地域貢献を意識し、実習生が現場ですぐに教員として活躍できるように、実際に教壇に立つ時間を増やしたり、担任業務を体験したりできるように変わって来ると思います。子どもと密に関わる内容が変わっていきます。また、研究分野においては本校職員の授業についても、公立校の先生方が実践に活用されるような専門的な知見でのアドバイスをいただけたと思います。

<実質2学期制のスケジュール>

月	生活スケジュール	学習スケジュール
4月	始業式 前期学級委員・係活動開始 前期縦割り掃除開始 成長ノート(通年)	大分県学力・学習状況調査 5年 全国学力・学習状況調査 6年 活用力テスト3, 4年 単元テスト 全学年(通年)
5月		
6月		
7月	終業式	1, 2年生家庭訪問, 3年生以上三者面談(各種テストデータの説明・生活・学習状況をお伝えする)
8月	始業式	6年生入試対策補習授業 6年生全国学力・学習状況調査結果配付
9月		通知表
10月	後期学級委員・係活動開始 後期縦割り掃除開始	
11月		学力調査(国語・算数)全学年
12月	終業式	学力調査・単元テスト個人データ配付
1月	始業式	
2月		
3月	修了式	通知表

昨年度なかった取組は□で囲んでおります。家庭訪問は移動時間や次の方への配慮から実質10分程度しかお話ができないという実態がありました。本年度は、3年生以上は6年生のように学校での個人面談とし、お子様の様子などゆっくりお話できる時間を確保したいと考えています。昨年度より変わったことは、今後も学校便りなどで定期的にお知らせいたします。

<お知らせ> 本校のPTA広報紙が大分県PTA連合会長賞を受賞しました。いつも読みごたえのある本校の広報紙ですので、対外的にも高い評価を受けたことは、本当にうれしいことです。広報委員会の皆様をはじめ、会員の皆様本当におめでとうございませう。